

ZOOM によるオンライン講座

参加料：無料

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、国内でも 2021 年から新型コロナワクチンの接種が始まり、およそ国民の 8 割がワクチン接種を済ませました。

一方で、ワクチン接種による健康被害や死亡事例が多数発生してしまっています。国の予防接種健康被害救済制度で因果関係が否定できないとして認定した件数は 9,412 件、死亡認定件数は 1,059 件、障害認定件数は 222 件（2025 年 12 月 23 日現在）にも及びます。またワクチン接種による労災認定件数は 2021 年～2023 年度の 3 年間で 1,033 件あります。

しかし国も自治体もマスメディアも、ワクチン被害についてほとんど広報／報道しませんので、多くの国民はワクチン接種の負の側面について知らされていません。

そこで今年度もワクチン接種による健康被害をテーマにし、予防接種健康被害救済制度を中心とした社会保障制度について、この分野に詳しい弁護士の坏悠樹さん（法律事務所一陽来復／神奈川県弁護士会所属）にお話を伺います。

上記の数字も氷山の一角であり、突然の体調不良や、場合によっては死亡してしまったケースなど、まだまだワクチン接種との因果関係が見過ごされている事例が多くありますので、患者相談の最前線に立つ皆さまとこの問題について学んでいきたいと考えます。

講師：弁護士 坏 悠樹
（法律事務所 一陽来復）



2026年2月27日（金）17時30分～19時30分

共催：一般社団法人神奈川県医療ソーシャルワーカー協会
NPO 法人神奈川労災職業病センター

申し込み：WEB <https://koshc.org/>
「QR コード」からも申込できます→
問合せ：045-573-4289（鈴木）



医療関係者（医師・看護師・事務職・MSW等）のための
労災・職業病講座

ワクチン接種の健康被害救済制度を学んで、
患者さんの救済につなげよう

予防接種健康被害救済制度、労災保険などの社会保障制度について

